

授業科目 機能看護学演習 I	科目概要・形式 2 単位 60 時間	配当年次 1 年 後期		
科目責任者 大関信子				
担当者 上泉和子、鄭佳紅、角濱春美、木村恵美子、福井幸子、大関信子				
<p>1. 科目のねらい・目標 様々な対象のニーズに対応する看護技術、看護ケアシステムの開発、看護手法の確立に関連する研究論文を探索し、研究論文のクリティイーク、文献レビューの過程を通して、専門領域で必要とされている実践及び研究課題を明らかにする。</p>				
<p>2. 授業計画・内容</p> <p>【上泉和子・鄭佳紅】 看護管理に関する研究課題について、研究論文の探索、文献レビュー、論文クリティイークを行い、プレゼンテーションし、ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。</p> <p>【角濱春美】 自らの研究テーマと関わりのある研究、理論について学び、看護の基盤となる科学（看護基礎科学）と実際の研究との関連性について探求する。</p> <p>【木村恵美子】 自らの臨床の経験・研究テーマに関する研究論文のクリティイーク・文献レビューを通して研究課題を明らかにする。</p> <p>【福井幸子】 療養者や家族に対する看護ケア、感染症をコントロールするシステムづくり、及び、看護実践の効果を検証する方法などの文献クリティイークとディスカッションを通して、研究課題を明確にする。</p> <p>【大関信子】 ウィメンズヘルスの研究（外国の文献も含む）をクリティイークし、文献リストから Literature review の作成を通じ研究課題を明確にする。予測される研究成果が臨床にどのような貢献ができるかを考察する。</p>				
<p>3. 教科書、参考書 各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。</p>				
<p>4. 成績評価方法 小論文で評価する。</p>				
<p>5. 受講要件 看護師の資格を有すること。</p>				
<p>6. 社会人学生に対する配慮 講義の日時は担当教員と相談して決めることができるよう配慮する。</p>				
<p>7. その他 担当教員に事前に連絡を取り、課題等の指示を受けること。</p>				

